

社会資本総合整備計画書

いしかわけん
(石川県かほく市)

平成28年 3月11日 提出

平成29年 3月24日 提出(第1回変更)

社会資本総合整備計画（防災・安全交付金）

計画の名称	安全で安心・快適な市街地整備の推進（防災・安全）										重点配分対象の該当	○							
計画の期間	平成28年度～平成32年度（5年間）					交付対象	かほく市												
計画の目標	<p>安全で安心・快適な市街地の整備を推進するため、公園等の施設整備により市民に憩いと活動の場を提供する。 公園施設長寿命化計画に基づき適切に維持管理されている公園施設の改修を実施するとともに、公園施設の適正な維持管理の実施により市民が安全・安心で魅力ある公園整備を目指す。</p>																		
計画の成果目標（定量的指標）	<p>うのけ総合公園、高松運動公園、谷公園、七塚中央公園の年間利用者数を148千人/年(H28当初)から163千人/年(H32末)へ増加。 平成32年までに、15箇所において公園施設長寿命化計画に基づく公園施設の改修を行い、健全な公園施設を26% (H28当初) から50% (H32末) にする。</p>																		
定量的指標の定義及び算定式											<p>定量的指標の現況値及び目標値</p> <table border="1"> <tr> <th>当初現況値 (H28当初)</th> <th>中間目標値</th> <th>最終目標値 (H32末)</th> </tr> <tr> <td>148,933人/年</td> <td></td> <td>163,000人/年</td> </tr> </table>		当初現況値 (H28当初)	中間目標値	最終目標値 (H32末)	148,933人/年		163,000人/年	備考
当初現況値 (H28当初)	中間目標値	最終目標値 (H32末)																	
148,933人/年		163,000人/年																	
	<p>うのけ総合公園、高松運動公園、谷公園、七塚中央公園の年間利用者数</p>																		
	<p>公園施設長寿命化計画に基づき、長寿命化対策工事等を行った公園施設の割合を算出 (長寿命化計画に基づき、改修等を行った公園施設) / (長寿命化計画に基づき、改修等が必要な公園施設)</p>										26%	50%							
全体事業費	合計 (A+B+C+D)	200百万円	A	200百万円	B	-	C	0百万円	D	0百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0.0%							
交付対象事業																			
A6 都市防災・公園事業																			
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用便益費	個別施設計画 策定状況	備考		
									H28	H29	H30	H31	H32						
A6-1	都市公園	一般	かほく市	直接	かほく市	かほく市都市公園安全・安心対策事業	長寿命化対策（高松運動公園等15箇所における遊戯施設等の改修）	かほく市						200	-	策定済			
小計（都市防災・公園事業）												200		-					
C6 都市防災・公園事業効果促進事業																			
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考				
									H28	H29	H30	H31	H32						
小計																			
番号	一体的に実施することにより期待される効果													備考					
D 社会資本整備円滑化地籍整備事業																			
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考				
									H28	H29	H30	H31	H32						
番号	一体的に実施することにより期待される効果													備考					

交付金の施行状況

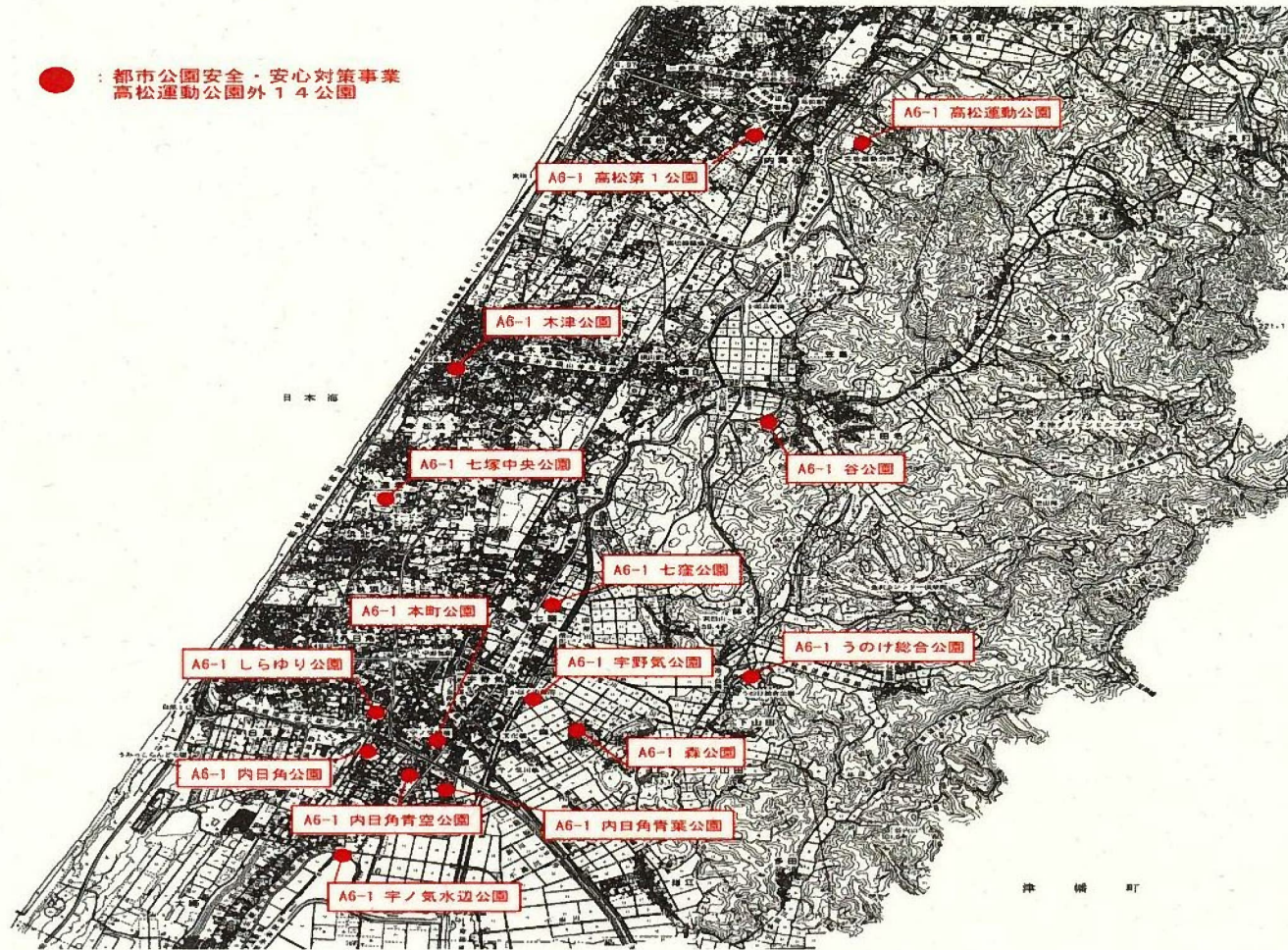
(単位：百万円)

	H28	H29	H30	R1	R2
配分額 〔a〕	30.0	10.0	—	—	—
計画別流用増△減額 〔b〕	0.0	0.0	—	—	—
交付額 〔c = a + b〕	30.0	10.0	—	—	—
前年度からの繰越額 〔d〕	0.0	0.0	—	—	—
支払済額 〔e〕	30.0	10.0	—	—	—
翌年度繰越額 〔f〕	0.0	0.0	—	—	—
うち未契約繰越額 〔g〕	0.0	0.0	—	—	—
不用額 〔h = c + d - e - f〕	0.0	0.0	—	—	—
未契約繰越率+不用率 〔i = (g + h) / (c + d)〕	0.0%	0.0%	—	—	—
未契約繰越率+不用率が 10%を超えている場合その理由					

市街地整備

計画の名称	1 安全で安心・快適な市街地整備の推進 (防災・安全)	交付対象	かほく市
計画の期間	平成28年度 ~ 平成32年度 (5年間)		

● : 都市公園安全・安心対策事業
高松運動公園外14公園



社会資本整備総合交付金チェックシート

計画の名称:安全で安心・快適な市街地整備の推進(防災・安全) 事業主体名:かほく市

		チェック欄	根拠となる事項等
I. 目標の妥当性			
1)上位計画等と整合性が確保されている。	<input type="radio"/>		かほく市都市計画マスタープラン
2)地域の課題を踏まえて目標が設定されている。	<input type="radio"/>		かほく市都市計画マスタープラン
II. 整備計画の効果・効率性			
1)整備計画の目標と定量的指標の整合性が確保されている。	<input type="radio"/>		市民に思いの場の提供を目標に掲げており、公園年間利用者数を定量的指標としているため合致している。
2)定量的指標の明瞭性が確保されている。	<input type="radio"/>		公園年間利用者数を定量的指標としているため明瞭性が確保されている。
3)目標と事業内容との整合性が確保されている。	<input type="radio"/>		公園長寿命化計画に基づき公園施設の改修を実施する目標であるため、事業内容と合致する。
4)事業の効果(要素事業の相乗効果等)の見込みが妥当である。	<input type="radio"/>		事業の実施に伴う公園利用者の増加が見込まれるため妥当である。
III. 整備計画の実現可能性			
1)円滑な事業執行の環境が整えられている。(事業熟度、住民等の合意形成を踏まえた事業実施の確実性)	<input type="radio"/>		公園長寿命化計画が策定されており、計画に基づいて実施する。
2)地元の機運がある。(住民、民間等の活動・関連事業との連携等による事業効果発現の確実性)	<input type="radio"/>		住民主体の公園愛護活動もおこなっており事業効果は確実である。